

# 6名をとりもどせ!



直ちに反撃開始! 高性能スピーカーを備えた  
宣伝車が各警察署前で、獄中の仲間にとどげと  
ばかりに、激励と抗議。

## 日刊 労働千葉

81.7.18

No. 796

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六)公衆電話三三二七二〇七

### 全支部結集で千葉地検前を 制圧。激励・抗議行動を展開!

7月15日早朝、千葉県警・船橋署の行った暴挙をわれわれは、決して許してはならない。さらに、わが三月ジェット決戦闘争にスト破りをもって敵対し、今また、最も先進的に叩く六名の仲間を権力に売りわたすという極めて憎むべき労働「本部」・転び屋・革マル分子・嶋田誠、斉藤吉、佐藤次男の所業を許すことなく反撃の嵐を巻き起してゆかなければならない。

労働千葉は、デツチあげ不当逮捕の当日、各支部から怒りにもえた組合員三百名の結集をもって勝ちとられた緊急抗議集会の圧倒的成功をもとに、7月16日早朝

よりの各警察署前をはじめ、県下全域にわたる抗議と、不当逮捕にキ然と叩く6名の仲間への激励、労働者・市民への宣伝行動等を力強く展開した。厚すぎには、各支部からの組合員約60名が結集する中で、千葉地検・正門前を制圧し、鉄輪旗をなびかせ、叩く六名の仲間への力強い激励を行った。そして何よりも、本部反動分子によるデツチあげ告訴を絶好のチャンスとばかりに労働千葉破壊に全力をあげる、警察、検察当局に鋭い糾弾の声を叩きつけていったのである。

#### 権力を圧倒する労働千葉の気迫

12時すぎ、各支部組合員は動力車会館に続々と結集した。13時10分、千葉地検前は横断幕・鉄輪旗をつけた宣伝車を中心に、つめかけた組合員で正門付近が埋められ、完全黙秘で叩いている6名の仲間の到着を待ちうけた。

何台かの護送車は、正門を通り抜けて地検へ入っていた。が、叩く6名の仲間の姿はどこにも見えなかった。

今や遅しと待つわれわれに入った情報は、またまた前代未聞の警察・検察当局のやり口であった。「今日は検察の対応ができない」「従って身柄送検はやらないうーなん」とふざけたやり口ではないか! 逮捕後48時間以内に「身柄を検察庁に送検」しなければ直ちに釈放しなければならぬのだ。にもかかわらず、これをふみにじり、いまだ身柄を勾留するやり方こそ、権力が「法」を無視する行為であり、デツチあげ事件であることを権力自らが暴露したといえよう。

しかも、早朝寝込みを奪い、私刑刑事統計二〇〇名を動員しての強制家宅捜査といい、逮捕後の6名の6署への分散留置といい、地検に送検すらせず6名の仲間を獄中にいまだ閉じこめるといふ不法行為とい、今回の「コソび」↓デツチあげ告訴↓法的不法な逮捕・勾留が明確に労働千葉破壊のみを目的とした政治的弾圧以外の何ものでもない事を示している。

#### 津沼支部の叩きを全支部で守りぬこう

この未曾有の政治的弾圧攻撃は、同時に労働「本部」反動分子が完全に権力の手先と化したことを示すものである。

「4・17津田沼襲撃」をもって、井岡支部長に頭がい骨骨折の重傷を負わせ、組合員への暴力「オルグ」を連日行い、当局に逆訴して労働千葉への処分を要請し、三月闘争で公然とスト破りを行い、ついに今回「転び屋」と「デツチあげ」をもって告訴し叩く労働者を売り渡すところまで転落した労働「本部」革マル反動分子。

これをつけて、「4・17」事件の下手人と知っていて手を貸す警察・検察当局。これを権力と一体といわずして何というのか。

全組合員のみならず。

不当逮捕され獄中でき然と叩いている6名の仲間。そして、暫定執行体制を確立し6名の仲間を力強く支える津田沼支部の叩き。われわれは、千三百名の総力をあげてこの叩きを守りぬいていこうではないか。